

2012年3月期 決算プレゼンテーション

2012年6月7日

加賀電子株式会社(東証1部:証券コード8154)

〒101-8629 東京都千代田区外神田3-12-8

TEL:03-4455-3131

FAX:03-3254-7132

<http://www.taxan.co.jp>



2012年3月期 連結業績

2012年3月期 連結業績

損益計算書

(単位:百万円)

	2011年3月期		2012年3月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	237,811	100.0%	229,856	100.0%	-7,955	-3.3%
売上原価	207,298	87.2%	201,350	87.6%	-5,948	-2.9%
売上総利益	30,512	12.8%	28,506	12.4%	-2,006	-6.6%
販売費及び一般管理費	27,089	11.4%	26,438	11.5%	-651	-2.4%
営業利益	3,423	1.4%	2,067	0.9%	-1,356	-39.6%
営業外収益	876	0.4%	850	0.4%	-26	-3.0%
営業外費用	701	0.3%	348	0.2%	-353	-50.4%
経常利益	3,598	1.5%	2,569	1.1%	-1,029	-28.6%
特別損益	-376	-0.2%	233	0.1%	609	-162.0%
税金等調整前当期純利益	3,223	1.4%	2,802	1.2%	-421	-13.1%
法人税及び住民税	2,026	0.9%	1,784	0.8%	-242	-11.9%
法人税等調整額	-563	-0.24%	95	0.04%	658	-116.9%
少数株主利益	-7	0.00%	8	0.00%	15	-214.3%
当期純利益	1,768	0.7%	914	0.4%	-854	-48.3%

事業部門別業績

(単位:百万円)

	2011年3月期		2012年3月期		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
	セグメント利益		セグメント利益			
電子部品	171,576	72.1%	166,468	72.4%	-5,108	-3.0%
	2,901	84.8%	2,021	97.8%	-880	-30.3%
情報機器	50,745	21.3%	49,360	21.5%	-1,385	-2.7%
	-67	-2.0%	-533	-25.8%	-466	695.5%
ソフトウェア	5,687	2.4%	3,854	1.7%	-1,833	-32.2%
	487	14.2%	402	19.4%	-85	-17.5%
その他	9,801	4.1%	10,173	4.4%	372	3.8%
	230	6.7%	319	15.4%	89	38.7%
計	237,811	100.0%	229,856	100.0%	-7,955	-3.3%
	3,423	100.0%	2,067	100.0%	-1,356	-39.6%

主な増減のポイント

※セグメント利益は調整前の数字を記載し、合計については調整後の数字を記載しております。

■「電子部品事業」(半導体・一般電子部品・EMSなどの開発・製造・販売)

既存顧客への拡販に注力する一方、震災後特に注目された環境ビジネスとしてLED関連商品や太陽光パネルなどの販路拡大に努めてまいりましたが、国内における震災の影響や消費減速にともなう取引先各メーカーの生産調整などにより電子部品および半導体の販売やEMSの受注が減少し、また海外においても、タイの洪水による取引先メーカーの減産などの影響を受けました。その結果、売上高は1,664億68百万円となりました。

■「情報機器」(パーソナルコンピューター・PC周辺機器・写真や映像関連商品及びオリジナルブランド商品などの販売)

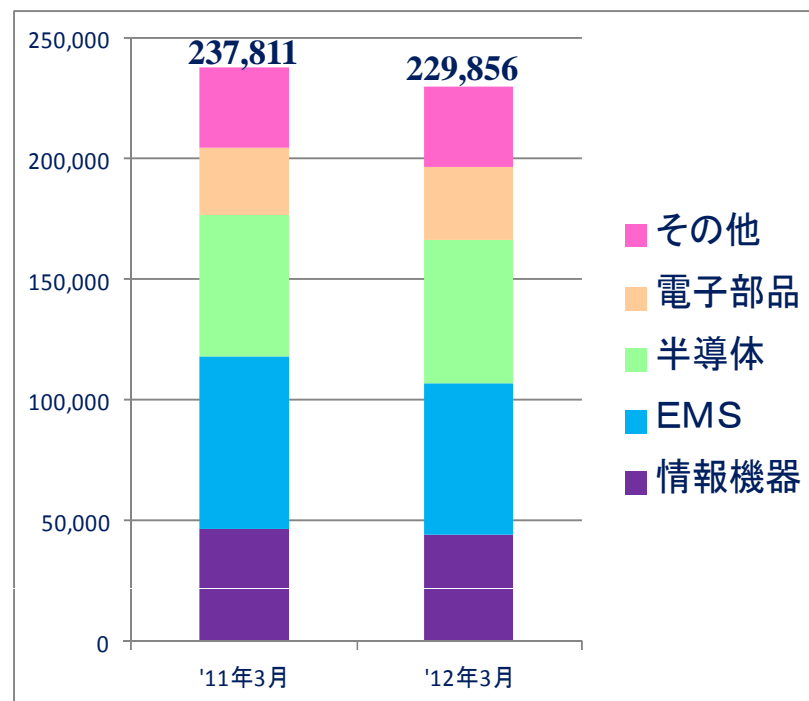
昨年7月の地上アナログ放送終了に伴う地デジチューナー受注が増加しましたが、震災や夏場以降の民生機器の消費落ち込みおよびタイ洪水による取扱い商品の生産減などの影響を受け、売上高は493億60百万円となりました。

2012年3月期 連結業績

商品分類別売上高

(単位:百万円)

	2011年3月期		2012年3月期		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
情報機器	47,196	19.8%	44,276	19.3%	-2,920	-6.2%
EMS	70,937	29.8%	62,655	27.3%	-8,282	-11.7%
半導体	58,587	24.6%	59,303	25.8%	716	1.2%
一般電子部品	27,774	11.7%	30,356	13.2%	2,582	9.3%
その他	33,315	14.0%	33,264	14.5%	-51	-0.2%
計	237,811	100.0%	229,856	100.0%	-7,955	-3.3%



主な増減のポイント

■「EMS」売上高:前年同期比-82億82百万円(11.7%減少)

震災およびタイの洪水の影響による部材の供給難やこれにともなう取引先各メーカーの生産調整などの影響によりEMSの受注が減少した結果、売上高は626億55百万円となりました。

■「情報機器」売上高:前年同期比-29億20百万円(6.2%減少)

パーソナルコンピュータや地デジチューナーの売上が増加しましたが、震災や夏場以降の消費落ち込み及びタイ洪水による取扱い商品の生産減などにより、売上高は442億76百万円となりました。

■「一般電子部品」売上高:前年同期比+25億82百万円(9.3%増加)

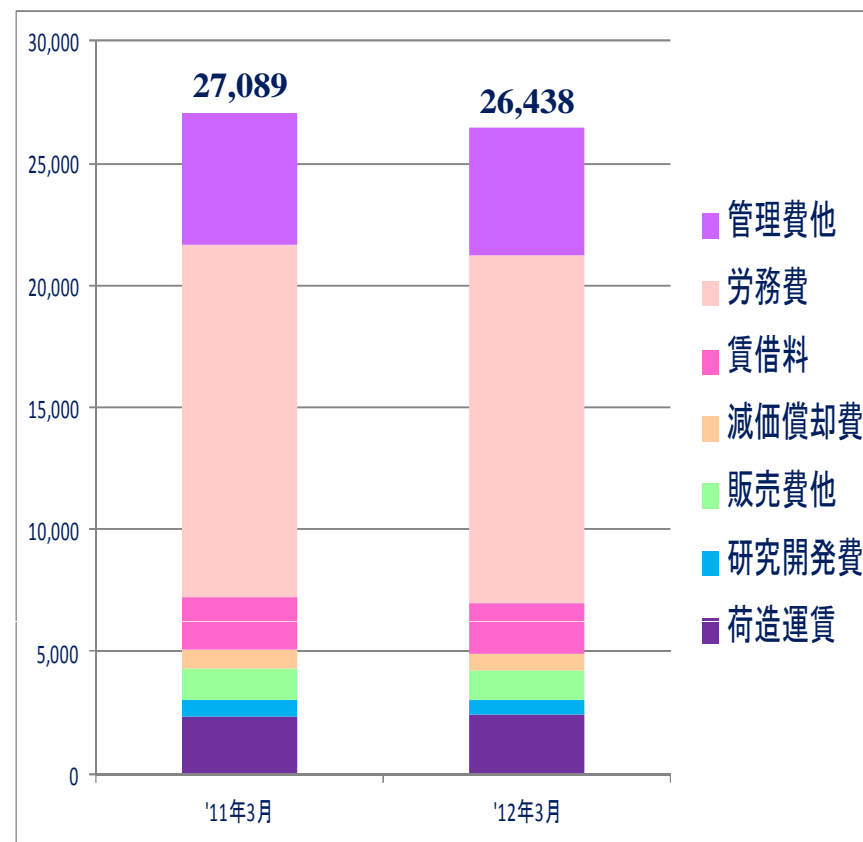
震災により一時品不足となった部品の調達ルートを確保し、既存顧客への拡販を行うなど積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、売上高は303億56百万円となりました。

2012年3月期 連結業績

販売管理費

(単位:百万円)

	2011年3月期		2012年3月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
荷造運賃	2,340	8.6%	2,450	9.3%	110	4.7%
研究開発費	659	2.4%	576	2.2%	-83	-12.6%
その他	1,318	4.9%	1,159	4.4%	-159	-12.1%
販売費計	4,317	15.9%	4,185	15.8%	-132	-3.1%
減価償却費	786	2.9%	731	2.8%	-55	-7.0%
賃借料	2,102	7.8%	2,025	7.7%	-77	-3.7%
労務費	14,434	53.3%	14,249	53.9%	-185	-1.3%
その他	5,449	20.1%	5,247	19.8%	-202	-3.7%
管理費計	22,771	84.1%	22,252	84.2%	-519	-2.3%
販管費合計	27,089	100.0%	26,438	100.0%	-651	-2.4%



主な増減のポイント

■ 管理費

労務費: 前期比 1億85百万円減少。グループ社員数: 486名減少 (5,725名→5,239名)

減少要因①加賀コンポーネント本体及び海外工場(中国・マレーシア)計で214名減少しました。

②加賀タイランドで工員中心に256名減少しました。

2012年3月期 連結業績

貸借対照表

(単位:百万円)

	'11年3月末	'12年3月末	増減額		'11年3月末	'12年3月末	増減額
流動資産	92,789	94,374	1,585	流動負債	56,987	59,474	2,487
現金及び預金	11,926	9,775	-2,151	支払手形・買掛金	40,790	41,748	958
受取手形・売掛金	54,025	55,979	1,954	短期借入金	8,505	11,084	2,579
商品及び製品	15,775	17,104	1,329	その他	7,692	6,642	-1,050
仕掛品	555	334	-221	固定負債	9,099	7,303	-1,796
原材料及び貯蔵品	3,189	4,115	926	長期借入金	4,636	2,833	-1,803
その他	7,319	7,067	-252	その他	4,463	4,470	7
				負債合計	66,087	66,777	690
				株主資本			0
固定資産	21,810	20,340	-1,470	資本金	12,133	12,133	0
有形固定資産	9,724	9,487	-237	資本剰余金	13,912	13,912	0
無形固定資産	2,599	2,245	-354	利益剰余金	24,952	25,038	86
投資等	9,485	8,607	-878	自己株式	-1,332	-1,333	-1
				評価・換算差額	-2,817	-3,341	-524
				少数株主持分	1,664	1,526	-138
資産合計	114,599	114,714	115	純資産合計	48,512	47,936	-576
				負債・純資産合計	114,599	114,714	115

2012年3月期 連結業績

キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2011年3月期	2012年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	6,321	958	-5,363
投資活動によるキャッシュフロー	-6,369	-2,645	3,724
財務活動によるキャッシュフロー	478	-242	-720
現金等に関する換算差額	-431	-171	260
現金等の増減額	-1	-2,100	-2,099
現金等の期首残高	11,797	11,796	-1
現金等の期末残高	11,796	9,695	-2,101

主な増減のポイント

- 営業活動によるキャッシュフロー: 主に税金等調整前当期純利益などにより、9億58百万円の資金獲得となりました。
- 投資活動によるキャッシュフロー: 有形固定資産の取得などにより26億45百万円の使用となりました。
- 財務活動によるキャッシュフロー: 長期借入金の返済などにより、2億42百万円の使用となりました。

2013年3月期 連結業績予想

損益計算書（予想）

（単位：百万円）

	2012年3月期		2013年3月期（予）		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率
売上高	229,856	100.0%	234,000	100.0%	4,144	1.8%
売上原価	201,350	87.6%	204,500	87.4%	3,150	1.6%
売上総利益	28,506	12.4%	29,500	12.6%	994	3.5%
販売費及び一般管理費	26,438	11.5%	27,300	11.7%	862	3.3%
営業利益	2,067	0.9%	2,200	0.9%	133	6.4%
営業外損益	502	0.2%	500	0.2%	-2	-0.4%
経常利益	2,569	1.1%	2,700	1.2%	131	5.1%
当期純利益	914	0.5%	1,600	0.8%	686	75.1%

事業部門別業績（予想）

（単位：百万円）

	2012年3月期		2013年3月期(予)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
	セグメント利益		セグメント利益			
電子部品	166,468	72.4%	170,400	72.8%	3,932	2.4%
	2,021	97.8%	1,750	79.5%	-271	-13.4%
情報機器	49,360	21.5%	49,176	21.0%	-184	-0.4%
	-533	-25.8%	596	27.1%	1,129	-211.8%
ソフトウェア	3,854	1.7%	3,742	1.6%	-112	-2.9%
	402	19.4%	433	19.7%	31	7.7%
その他	10,173	4.4%	10,682	4.6%	509	5.0%
	319	15.4%	338	15.4%	19	6.0%
計	229,856	100.0%	234,000	100.0%	4,144	1.8%
	2,067	100.0%	2,200	100.0%	133	6.4%

※セグメント利益は調整前の数字を記載し、合計については調整後の数字を記載しております。

主な増減のポイント

■「電子部品事業」(半導体・一般電子部品・EMSなどの開発・製造・販売)

東日本大震災およびタイの洪水からの取引先各メーカーの回復による国内外のEMSの売上高増加により前年の実績を上回る予定です。

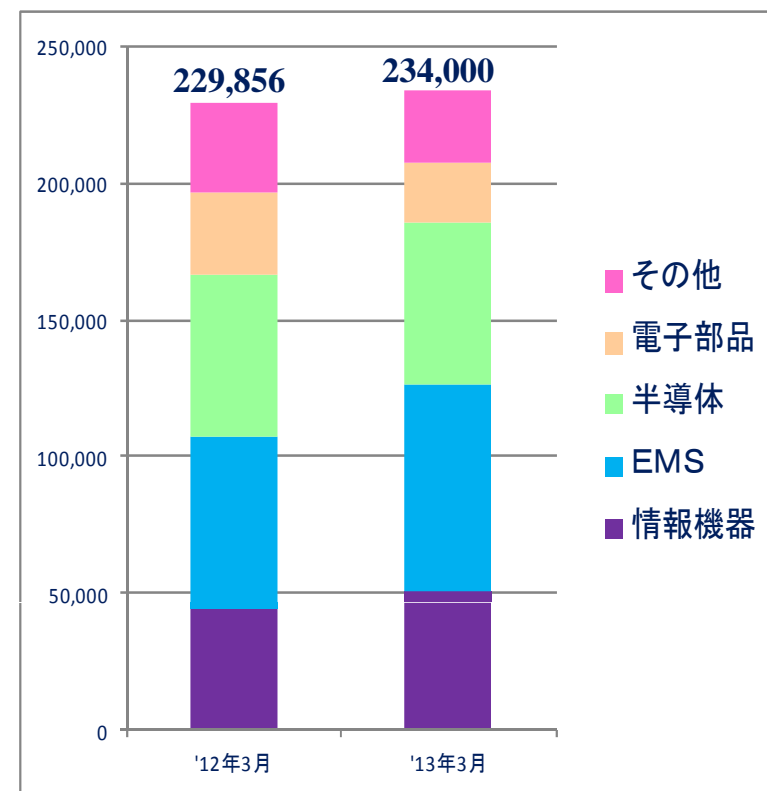
■「情報機器」(パーソナルコンピューター・PC周辺機器・写真や映像関連商品及びオリジナルブランド商品などの販売)

パーソナルコンピューターおよび周辺機器など既存商品やモバイル関連商品などの拡販に努めてまいります。

2013年3月期 連結業績予想

商品分類別売上高（予想）（単位：百万円）

	2012年3月期		2013年3月期(予)		増減	
	売上高	構成比	売上高	構成比	増減額	増減率
情報機器	44,276	19.3%	51,100	21.8%	6,824	15.4%
EMS	62,655	27.3%	75,800	32.4%	13,145	21.0%
半導体	59,303	25.8%	58,800	25.1%	-503	-0.8%
一般電子部品	30,356	13.2%	22,300	9.5%	-8,056	-26.5%
その他	33,264	14.5%	26,000	11.1%	-7,264	-21.8%
計	229,856	100.0%	234,000	100.0%	4,144	1.8%



主な増減のポイント

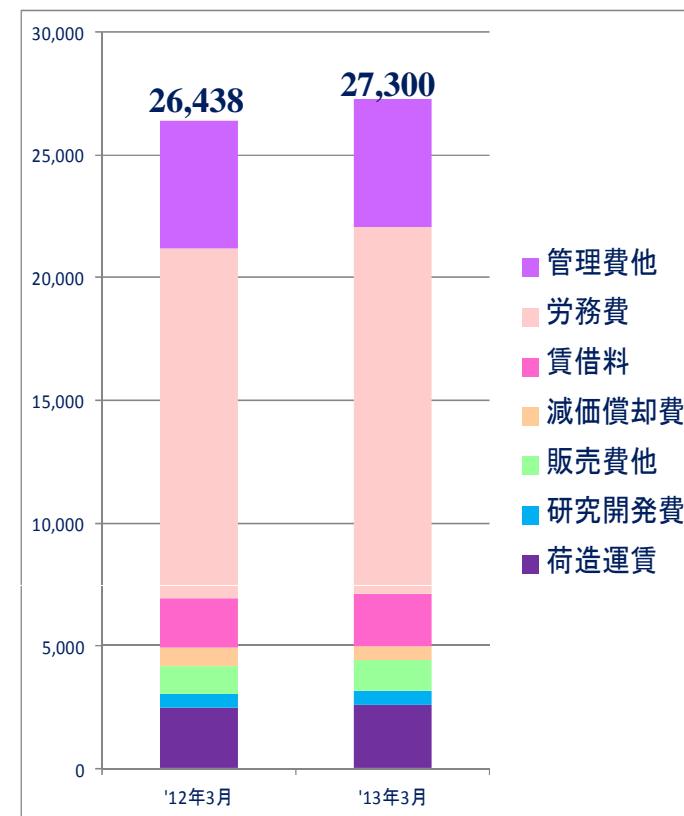
- 「情報機器」: パーソナルコンピュータおよび周辺機器の拡販により、前年同期比+68億24百万円(+15.4%)。
- 「EMS」: 海外取引先各メーカーの生産の回復により、前年同期比+131億45百万円(+21.0%)。
- 「半導体」: 国内取引先各メーカーの生産調整などにより、前年同期比-5億03百万円(-0.8%)。
- 「一般電子部品」: 国内取引先各メーカーの生産調整などにより、前年同期比-80億56百万円(-26.5%)。
- 「その他」: リサイクル関連事業や映像制作およびアプリケーションソフトの販売などにより、前年同期比-72億64百万円(-21.8%)。

■2013年3月期 連結業績予想

販売管理費（予想）

（単位：百万円）

	2012年3月期		2013年3月期(予)		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
荷造運賃	2,450	9.3%	2,596	9.5%	146
研究開発費	576	2.2%	574	2.1%	-2
その他	1,159	4.4%	1,242	4.5%	83
販売費計	4,185	15.8%	4,412	16.2%	227
減価償却費	731	2.8%	584	2.1%	-147
賃借料	2,025	7.7%	2,113	7.7%	88
労務費	14,249	53.9%	14,941	54.7%	692
その他	5,247	19.8%	5,249	19.2%	2
管理費計	22,252	84.2%	22,887	83.8%	635
販管費合計	26,438	100.0%	27,300	100.0%	862



主な増減のポイント

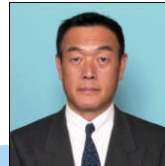
販売費 加賀ハイテックなどの売上高増に伴い、荷造運賃が前期比1億46百万円増加見込。

■管理費 グループ社員数増により労務費前期比6億92百万円増加見込。（前期末5,239名→今期初5,298名 59名増）

トピックス

トピックス① ビジネスユニットの変更

4月よりビジネスユニット担当役員(BU長)の大幅な入れ替えを行いました。
組織の活性化を図り、新たなビジネスを創造します。



コンポーネントBU
(電子部品事業)
取締役副社長 門 良一
(前エンターテイメントBU長)



エンターテイメントBU
(アミューズメント業界向事業)
専務取締役 高橋 信佐
(前インフォメーションBU長)



代表取締役会長 代表取締役社長

塚本 勲

塚本 外茂久

インフォメーションBU
(情報機器関連事業)
専務取締役 下山 和一郎
(前加賀電子(株)管理本部長)



プロモーションBU
(環境・通信等最先端事業)
専務取締役 高師幸男
(前コンポーネントBU長)

加賀電子(株)
管理本部



執行役員
川村英治

マニュファクチャリングBU
(EMSビジネス・メーカー機能)
常務取締役 笥 新太郎
(変更なし)



トピックス②ー1 2012年3月期の新設海外拠点

中国の人的費高騰による生産コスト上昇により、日系企業が東南アジアに生産をシフトしているため、同地域を深掘りして新しいビジネスの獲得を目指します。

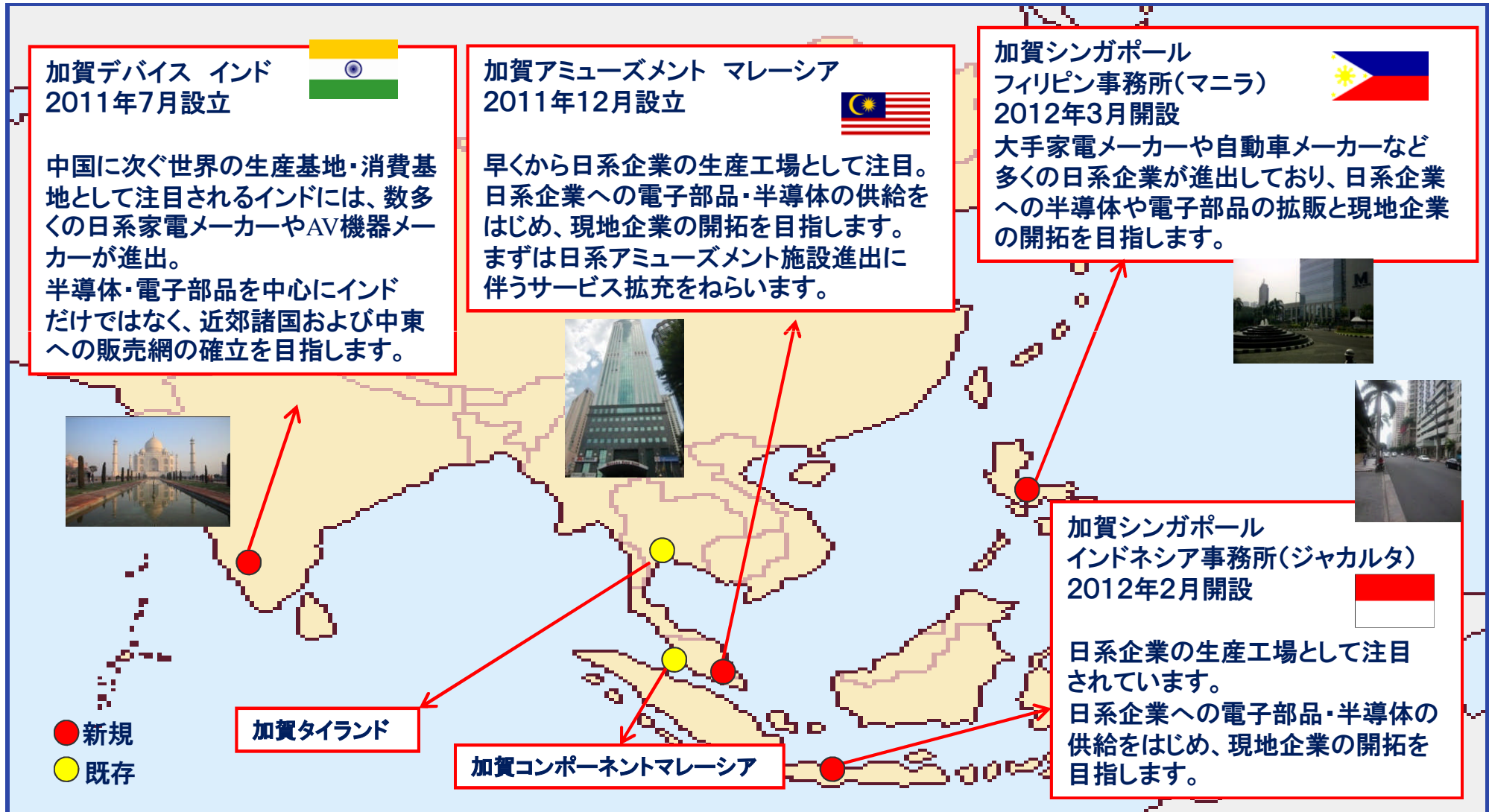
- 戦略
- ・・日系企業の深掘
 - ・・現地ローカル企業の開拓(日系顧客中心ビジネスからの転換)

- ◆インドに現地法人を設立 (2011年7月) ⇒ 三菱電機製パワー半導体や電子部品を取り扱い、日系企業および現地ローカル企業を開拓を目指す。またインドを拠点として中東等近隣諸国へ進出を目指す。
- ◆マレーシアに現地法人を設立 (2011年12月) ⇒ 主力客先である日系アミューズメント施設進出に伴い、マレーシアを中心とした東南アジア地域へのサービス拡充を目指す。
- ◆インドネシア連絡事務所設立 (2012年2月) ⇒ 日系企業(音響、事務機器、家電等)への拡販と現地ローカル企業の開拓。
- ◆フィリピン連絡事務所設立 (2012年3月) ⇒ 日系企業(車載器等)への拡販と現地ローカル企業の開拓。

※ブラジル今後進出予定。販売拠点としての確立を目指し調査中。
EMS生産拠点としてカンボジア、ラオス、ミャンマーを調査中。

トピックス②ー2 2012年3月期の新設海外拠点

経済成長率が高いASEAN地域への日系家電・AV機器・自動車部品メーカー等進出に伴い、拠点を拡充しきめ細かいサービス提供に繋がります。



トピックス②ー3 KAGA ELECTRONICS(THAILAND)新工場

2011年10月 タイで発生した洪水で連結子会社KAGA ELECTRONICS(THAILAND)アユタヤ工場が甚大な被害を受けましたが、現地法人での迅速な対応により、他地域より海拔が高く水害に強いアマタナコンに工場を移転し、2012年2月より稼働いたしました。最新鋭の設備により生産効率を向上させ更なる拡大を目指します。

＜アマタナコン工場の概要＞

所在地 :タイ チョンブリ県/アマタナコン

生産品目:PCBA

(主に事務機器、空調機器、車載用基板)

敷地面積:10,144㎡(賃貸)

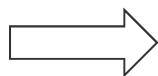
建屋面積:5,250㎡(賃貸)

従業員数:249名(2012年6月1日時点)

稼働開始:2012年2月



洪水時のアユタヤ工場



アマタナコン新工場

◆国内

環境関連

- ・国内電力不足による需要急伸
- ・各種チェーン店舗等への拡販(LED照明)
- ・異業種への営業活動強化

◆海外

海外現地企業との取引拡大

- ・自動車業界のエコ化によるパワー半導体の需要拡大
- ・白物家電のインバーター化が普及・拡大

トピックス③-2 スマートハウス・スマートグリッド

スマートハウス



トピックス③ー3 HEMSソリューションイメージ



トピックス③ー4 変わる自動車業界への注力



エネルギー変換
(化石燃料⇒電気)

新興国市場の台頭

競合他社の
参入

価格競争の熾烈化
【車】の価値感の変化

シェア獲得競争
の激化

業界構造改革の胎動




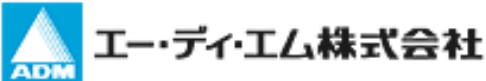
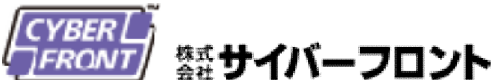
加賀電子グループの調達力を活かし、海外生産拠点向けに部品供給

アメリカ市場・ヨーロッパ市場・中国市場

その他① 業績不振グループ会社

主な業績不振グループ会社 当期純利益推移

(百万円)

会社名	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期(計画)	
 加賀コンポーネント株式会社	-393	-6	-707	-140	前期プロジェクト事業譲渡・海外工場整理、体質改善中。
 加賀ハイテック株式会社	-9	-75	-577	244	海外ブランド開発専門セクション新設し海外製品発掘・拡販。
 株式会社 エスアイエレクトロニクス	-86	30	-145	63	主力基板今期初出荷、個人向けカラオケ機器拡販
 エー・ディ・エム株式会社	-106	-98	-22	30	大手産業機器、メディカルヘルスケア、自動車向けに加え新規商材への取り組み
 株式会社 サイバーフロント	-	-206	-335	101	グループ入りしてから今期で3期目。今期業績注視。
計	-594	-355	-1,786	298	

各社直近業績・各事業の将来性、グループ内存在意義を再考し、今後の方針を検討いたします。

その他 業績不振グループ会社

- ・加賀コンポーネント(電源製造) ⇒ ①根本的会社組織の見直し
②製造工程管理の見直し
③高収益製品の開発
- ・加賀ハイテック(情報機器) ⇒ 海外製品の発掘・拡販
- ・エスアイエレクトロニクス(遊技機向基板) ⇒ 主力基板今期出荷開始
加賀電子技術部隊との連携
- ・エー・ディ・エム(アナログデバイス代理店) ⇒ ①東西営業本部制から
販売分野別組織へ
②新規商材の拡充
- ・サイバーフロント(ゲーム開発) ⇒ 経営体質の改善

その他② 新規ビジネス協業

次世代パワー半導体用のSiC基板製造を手掛ける 「サイコックス」社の販売パートナーとして協業

主な用途＝太陽光パネルのパワーコンディショナー、
EV/PHV用DC/DCコンバータ等

本基板により、変換効率の向上や小型軽量化を実現。

会社名 : (株)サイコックス SICOXS CORPORATION

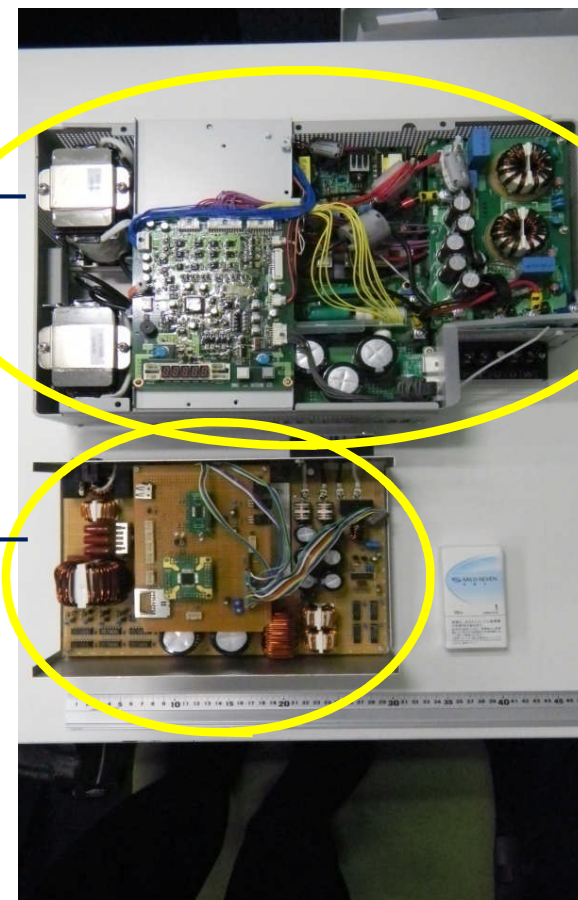
設立日 : 2012年6月1日

代表者 : 加藤光治

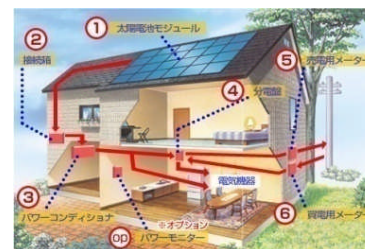
事業内容: シリコンカーバイド(SiC)基板の製造・販売、
SiC半導体部品加工の受託製造など

従来の
パワーコンディショナー

小型化イメージ



本件採用後の
パワーコンディショナー
サンプル



その他③ 社会貢献活動(日食グラス寄贈)

社会貢献活動の一環として、東日本大震災の被災地である福島県田村市の小中学校に対し、5月21日の金環日食に役立てていただくため、加賀ハイテック(株)の取扱商品「日食グラス」4,600枚を寄贈いたしました。



↑(左から)滝根町星の村天文台 大野台長、加賀電子下山専務、田村市助川教育長



↑菅谷小学校で下山専務より日食グラスを手渡し



←↑金環日食当日の様子



© 高田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション



© 2007 - 2011天野善孝/DML・「N.Y.SALAD」パートナーズ

ビクセン日食グラス

問合先:加賀電子(株)広報室

〒101-8629

東京都千代田区外神田3-12-8

住友不動産秋葉原ビル

TEL:03-4455-3131 FAX:03-3254-7132

E-mail:webmaster@taxan.co.jp

<http://www.taxan.co.jp>

